



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

平成28年10月26日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社アドバンテスト

コード番号 6857 URL <http://www.advantest.com/investors>

代表者 (役職名) 代表取締役兼執行役員社長

(氏名) 黒江 真一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 管理本部長

(氏名) 中村 弘志

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日

TEL 03-3214-7500

平成28年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	76,195	△11.8	8,318	24.6	9,115	50.0	7,261	143.9	7,261	143.9	△2,939	—
28年3月期第2四半期	86,347	—	6,677	—	6,078	—	2,977	—	2,977	—	2,479	—

	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	41.56	37.96
28年3月期第2四半期	17.05	15.77

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に帰属する持分		親会社所有者帰属持分比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	%	%	
29年3月期第2四半期	207,016	89,784	89,784	89,784	89,784	43.4	43.4	
28年3月期	210,451	93,619	93,619	93,619	93,619	44.5	44.5	

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
28年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00	20.00
29年3月期	—	13.00	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	9.00	9.00	22.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	156,000	△3.8	14,500	15.1	15,300	30.0	12,000	79.3	12,000	79.3	68.69	

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付P.4「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	199,566,770 株	28年3月期	199,566,770 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	24,434,460 株	28年3月期	24,994,162 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	174,692,143 株	28年3月期2Q	174,565,559 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、平成28年3月期の有価証券報告書から国際会計基準(IFRS)を適用しております。また、本短信の前年度第2四半期の連結財務諸表につきましても、IFRSに準拠して表示しております。

本短信には、将来の事象についての、当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれております。これらの将来の事象に係る記述は、当社における実際の財務状況や活動状況が、当該将来の事象に係る記述によって明示されているものまたは暗示されているものと重要な差異を生じるかもしれないという既知および未知のリスク、不確実性その他の要因が内包されており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明.....	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	P. 4
2. 要約四半期連結財務諸表.....	P. 5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書.....	P. 5
(2) 要約四半期連結損益計算書および要約四半期連結包括利益計算書.....	P. 7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書.....	P. 10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	P. 11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	P. 12
(継続企業の前提に関する注記)	P. 12
(セグメント情報)	P. 12
2016 年度第 2 四半期 決算 (連結) の概要	P. 14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2016年4月1日～2016年9月30日)の状況 (単位:億円)

	2016年3月期 第2四半期連結累計期間	2017年3月期 第2四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	711	723	1.7%
売上高	863	762	△11.8%
営業利益	67	83	24.6%
税引前四半期利益	61	91	50.0%
四半期利益	30	73	143.9%

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、全体として緩やかな成長基調を維持しました。中国経済の成長は減速傾向にあるものの、アジア新興国で力強い動きが続きました。先進国では米国経済に成長の鈍化が見られ、回復が続く欧州経済においても英国のEU離脱決定により先行きへの不透明感が増しています。

半導体関連市場においては、中・低価格帯スマートフォンの高機能化と販売台数拡大および高価格帯スマートフォンの新製品投入に牽引され、スマートフォン関連の部品需要が好調に推移しました。この動きを背景として、非メモリ半導体の生産ラインでは活況が続き、大手半導体メーカーの生産能力増強に向けた設備投資は堅調に推移しました。メモリ半導体でも、データセンターやスマートフォン向け需要の伸びを受け、半導体メーカーの設備投資意欲が改善しました。

当第2四半期連結累計期間の平均為替レートは、米ドルが107円(前年同期122円)、ユーロが120円(前年同期134円)となりました。

このような事業環境のもと、当社は、需要の盛り上がりを見せるロジック半導体用テストなどの受注獲得に努めました。その結果、円高による減収影響を受けながらも、受注高は723億円(前年同期比1.7%増)と前年同期並みの実績を収め、売上高は762億円(同11.8%減)となりました。利益面においても円高に伴う減益影響を受けましたが、採算性の良い製品の売上高比率が前年同期に比べ上昇したことで、営業利益は83億円(同24.6%増)、税引前四半期利益は91億円(同50.0%増)、四半期利益は73億円(同143.9%増)となりました。海外売上比率は89.1%(前年同期94.2%)です。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<半導体・部品テストシステム事業部門>

(単位:億円)

	2016年3月期 第2四半期連結累計期間	2017年3月期 第2四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	390	471	20.5%
売上高	510	513	0.7%
セグメント利益	28	115	314.8%

当部門では、非メモリ半導体用テストシステム事業は、中・低価格帯のスマートフォン向けロジック半導体の生産が活況であったことを受け、円高が進む中でも前年同期から売上高が伸長しました。メモリ半導体用テストシステム事業は、メモリ価格の下落が長引いたことで顧客各社の設備投資が期初に低調だったことから、販売が伸び悩みました。

以上により、当部門の受注高は471億円(前年同期比20.5%増)、売上高は513億円(同0.7%増)、セグメント利益は115億円(同314.8%増)となりました。

<メカトロニクス関連事業部門>

(単位: 億円)

	2016年3月期 第2四半期連結累計期間	2017年3月期 第2四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	178	114	△36.0%
売上高	202	109	△46.0%
セグメント利益	42	△14	—

当部門では、DRAM半導体メーカーの能力拡張投資が前年同期から落ち込んだため、メモリ半導体用テストシステムと事業関連性の高いデバイス・インタフェース事業の売上高が減少しました。大手半導体メーカーの微細化スケジュールとの兼ね合いから、ナノテクノロジー事業も前年同期から売上減となりました。

以上により、当部門の受注高は114億円(前年同期比36.0%減)、売上高は109億円(同46.0%減)、セグメント損失は14億円(同56億円悪化)となりました。

<サービス他部門>

(単位: 億円)

	2016年3月期 第2四半期連結累計期間	2017年3月期 第2四半期連結累計期間	前年同期比
受注高	142	138	△2.8%
売上高	152	140	△8.1%
セグメント利益	24	16	△34.0%

当部門では、半導体メーカー各社の生産ラインの活況を背景に、フィールドサービスに対する需要が堅調でした。しかしながら、この部門でも円高進行に伴う減収減益影響を受けました。

以上により、当部門の受注高は138億円(前年同期比2.8%減)、売上高は140億円(同8.1%減)、セグメント利益は16億円(同34.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末の総資産は、前年度末比34億円減少し、2,070億円となりました。この主な要因は、営業債権およびその他の債権が90億円、有形固定資産が12億円、のれんおよび無形資産が18億円それぞれ減少したこと、現金および現金同等物が97億円増加したことなどによります。負債合計は、前年度末比4億円増加し、1,172億円となりました。また、資本合計は898億円となり、親会社所有者帰属持分比率は前年度末比1.1ポイント減少し、43.4%となりました。

(キャッシュ・フロー計算書)

当第2四半期末における現金および現金同等物は、前年度末より97億円増加し、951億円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益91億円を計上したことに加え、営業債権およびその他の債権の減少(80億円)および法人所得税の支払(△22億円)に、減価償却費などの非資金項目等の損益を調整した結果、182億円の収入(前年同期は、15億円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、14億円の支出(前年同期は、14億円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得(△20億円)によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、11億円の支出(前年同期は、117億円の支出)となりました。これは主に、配当金の支払(△17億円)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

高速無線通信網の拡充、スマートフォンの世界的な普及や性能の進化、自動車の先進運転支援システムの採用拡大など、より快適・安全な社会の実現を目指す流れが今後の半導体市場およびその関連市場の成長を主導すると想定しています。

当社が主たる収益基盤を置く半導体試験装置市場の先行きを展望しますと、中国や新興国諸国におけるスマートフォン市場の伸びや高速通信インフラの整備進展を背景に、非メモリ半導体用テストシステムについては四半期毎の需要増減はあるものの、総じれば堅調な需要を見込んでいます。また、より高速・大容量なDRAMやNAND型フラッシュメモリの一層の普及拡大を背景に、当社のメモリ半導体用テストシステムやSSD用テストシステムの需要拡大を当年度下期に予想しています。

このような見通しのもと、当社は、半導体試験装置市場におけるシェアの拡大、半導体試験装置周辺事業および新規事業の強化、コストの引き締めなどに努め、収益の拡大を目指します。

通期連結業績予想については、第2四半期連結累計期間までの業績進捗ならびに直近の各事業の見通しに基づき、売上高は2016年7月に開示した1,560億円を据え置きます。営業利益は110億円から145億円へ、税引前利益は115億円から153億円へ、当期利益は85億円から120億円へ、それぞれ修正します。予想の前提とした為替レートは、米ドルが100円、ユーロが110円と、2016年7月時点の前提から変更ありません。

2. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2016年9月30日)
資産		
流動資産		
現金および現金同等物	85,430	95,090
営業債権およびその他の債権	28,005	18,990
棚卸資産	33,912	34,244
その他の流動資産	3,049	3,075
流動資産合計	150,396	151,399
非流動資産		
有形固定資産	31,451	30,270
のれんおよび無形資産	16,726	14,926
その他の金融資産	3,542	2,726
繰延税金資産	8,038	7,406
その他の非流動資産	298	289
非流動資産合計	60,055	55,617
資産合計	210,451	207,016

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2016年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2016年9月30日)
負債および資本		
負債		
流動負債		
営業債務およびその他の債務	22,101	22,551
社債	-	15,000
未払法人所得税	1,548	2,224
引当金	1,709	1,737
その他の金融負債	487	438
その他の流動負債	3,589	3,621
流動負債合計	29,434	45,571
非流動負債		
社債	44,618	29,681
その他の金融負債	65	43
退職給付に係る負債	41,076	40,539
繰延税金負債	358	228
その他の非流動負債	1,281	1,170
非流動負債合計	87,398	71,661
負債合計	116,832	117,232
資本		
資本金	32,363	32,363
資本剰余金	44,478	44,458
自己株式	△ 94,585	△ 92,466
利益剰余金	105,190	109,456
その他の資本の構成要素	6,173	△ 4,027
親会社の所有者に帰属する持分合計	93,619	89,784
資本合計	93,619	89,784
負債および資本合計	210,451	207,016

(2) 要約四半期連結損益計算書および要約四半期連結包括利益計算書
 (要約四半期連結損益計算書)
 (第 2 四半期連結累計期間)

	(単位：百万円)	
	前第 2 四半期連結累計期間 (自 2015年 4 月 1 日 至 2015年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2016年 4 月 1 日 至 2016年 9 月 30 日)
売上高	86,347	76,195
売上原価	△ 40,039	△ 29,850
売上総利益	46,308	46,345
販売費および一般管理費	△ 39,716	△ 38,128
その他の収益	274	231
その他の費用	△ 189	△ 130
営業利益	6,677	8,318
金融収益	154	908
金融費用	△ 753	△ 111
税引前四半期利益	6,078	9,115
法人所得税費用	△ 3,101	△ 1,854
四半期利益	<u>2,977</u>	<u>7,261</u>
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	2,977	7,261
1 株当たり四半期利益		
基本的	17.05円	41.56円
希薄化後	15.77円	37.96円

(第 2 四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結会計期間 (自 2015年 7 月 1 日 至 2015年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結会計期間 (自 2016年 7 月 1 日 至 2016年 9 月 30 日)
売上高	46,181	35,526
売上原価	△ 22,011	△ 14,459
売上総利益	24,170	21,067
販売費および一般管理費	△ 20,050	△ 18,531
その他の収益	170	93
その他の費用	△ 88	△ 49
営業利益	4,202	2,580
金融収益	64	411
金融費用	△ 718	△ 55
税引前四半期利益	3,548	2,936
法人所得税費用	△ 2,326	△ 650
四半期利益	1,222	2,286
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,222	2,286
1 株当たり四半期利益		
基本的	7.00円	13.07円
希薄化後	6.51円	12.00円

(要約四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)
四半期利益	2,977	7,261
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△ 418	△ 10,013
売却可能金融資産の公正価値の純変動	△ 80	△ 187
税引後その他の包括利益	△ 498	△ 10,200
四半期包括利益	2,479	△ 2,939
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	2,479	△ 2,939

(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2015年7月1日 至 2015年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2016年7月1日 至 2016年9月30日)
四半期利益	1,222	2,286
その他の包括利益		
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△ 3,040	△ 1,111
売却可能金融資産の公正価値の純変動	△ 418	△ 75
税引後その他の包括利益	△ 3,458	△ 1,186
四半期包括利益	△ 2,236	1,100
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△ 2,236	1,100

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自2015年4月1日至2015年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
2015年4月1日 残高	32,363	44,487	△ 94,686	106,916	12,730	101,810	101,810
四半期利益				2,977		2,977	2,977
その他の包括利益					△ 498	△ 498	△ 498
四半期包括利益	-	-	-	2,977	△ 498	2,479	2,479
自己株式の取得			△ 1			△ 1	△ 1
自己株式の処分		△ 9	102	△ 60		33	33
配当金				△ 1,745		△ 1,745	△ 1,745
所有者との取引額等合計	-	△ 9	101	△ 1,805	-	△ 1,713	△ 1,713
2015年9月30日 残高	32,363	44,478	△ 94,585	108,088	12,232	102,576	102,576

当第2四半期連結累計期間(自2016年4月1日至2016年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	資本合計
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
2016年4月1日 残高	32,363	44,478	△ 94,585	105,190	6,173	93,619	93,619
四半期利益				7,261		7,261	7,261
その他の包括利益					△ 10,200	△ 10,200	△ 10,200
四半期包括利益	-	-	-	7,261	△ 10,200	△ 2,939	△ 2,939
自己株式の取得			0			0	0
自己株式の処分		△ 195	2,119	△ 1,249		675	675
配当金				△ 1,746		△ 1,746	△ 1,746
株式に基づく報酬取引		175				175	175
所有者との取引額等合計	-	△ 20	2,119	△ 2,995	-	△ 896	△ 896
2016年9月30日 残高	32,363	44,458	△ 92,466	109,456	△ 4,027	89,784	89,784

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	6,078	9,115
減価償却費および償却費	2,582	2,351
売却可能金融資産売却益	-	△ 226
営業債権およびその他の債権の増減額 (△は増加)	998	7,979
棚卸資産の増減額 (△は増加)	1,208	△ 1,160
営業債務およびその他の債務の増減額 (△は減少)	△ 5,644	1,067
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	93	32
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	978	941
その他	△ 2,410	256
小計	3,883	20,355
利息および配当金の受取額	156	167
利息の支払額	△ 70	△ 112
法人所得税の支払額	△ 2,490	△ 2,166
営業活動によるキャッシュ・フロー 計	1,479	18,244
投資活動によるキャッシュ・フロー		
売却可能金融資産の売却による収入	-	626
有形固定資産の取得による支出	△ 1,365	△ 1,972
無形資産の取得による支出	△ 256	△ 225
その他	204	131
投資活動によるキャッシュ・フロー 計	△ 1,417	△ 1,440
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	33	675
社債の償還による支出	△ 10,000	-
配当金の支払額	△ 1,742	△ 1,743
その他	△ 38	△ 32
財務活動によるキャッシュ・フロー 計	△ 11,747	△ 1,100
現金および現金同等物に係る換算差額	617	△ 6,044
現金および現金同等物の純増減額 (△は減少)	△ 11,068	9,660
現金および現金同等物の期首残高	97,574	85,430
現金および現金同等物の四半期末残高	86,506	95,090

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自2015年4月1日至2015年9月30日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テストシステム 事業	メカトロニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	50,948	20,158	15,241	—	86,347
セグメント間の売上高	24	—	—	△ 24	—
合計	50,972	20,158	15,241	△ 24	86,347
セグメント利益(調整前営業利益)	2,774	4,228	2,416	△ 2,741	6,677
(調整)ストック・オプション費用	—	—	—	—	—
営業利益	—	—	—	—	6,677
金融収益	—	—	—	—	154
金融費用	—	—	—	—	△ 753
税引前四半期利益	—	—	—	—	6,078

当第2四半期連結累計期間(自2016年4月1日至2016年9月30日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テストシステム 事業	メカトロニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	51,334	10,857	14,004	—	76,195
セグメント間の売上高	4	34	—	△ 38	—
合計	51,338	10,891	14,004	△ 38	76,195
セグメント利益(調整前営業利益)	11,507	△ 1,410	1,594	△ 3,198	8,493
(調整)ストック・オプション費用	—	—	—	—	△ 175
営業利益	—	—	—	—	8,318
金融収益	—	—	—	—	908
金融費用	—	—	—	—	△ 111
税引前四半期利益	—	—	—	—	9,115

前第2四半期連結会計期間(自2015年7月1日至2015年9月30日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テストシステム 事業	メカトロニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	26,286	11,457	8,438	—	46,181
セグメント間の売上高	18	—	—	△ 18	—
合計	26,304	11,457	8,438	△ 18	46,181
セグメント利益(調整前営業利益)	1,338	2,660	1,630	△ 1,426	4,202
(調整)ストック・オプション費用	—	—	—	—	—
営業利益	—	—	—	—	4,202
金融収益	—	—	—	—	64
金融費用	—	—	—	—	△ 718
税引前四半期利益	—	—	—	—	3,548

当第2四半期連結会計期間(自2016年7月1日至2016年9月30日)

(単位:百万円)

	半導体・部品 テストシステム 事業	メカトロニクス 関連事業	サービス他	消去または 全社	連結
売上高					
外部顧客への売上高	22,651	5,734	7,141	—	35,526
セグメント間の売上高	—	—	—	—	—
合計	22,651	5,734	7,141	—	35,526
セグメント利益(調整前営業利益)	3,468	△ 425	960	△ 1,248	2,755
(調整)ストック・オプション費用	—	—	—	—	△ 175
営業利益	—	—	—	—	2,580
金融収益	—	—	—	—	411
金融費用	—	—	—	—	△ 55
税引前四半期利益	—	—	—	—	2,936

- (注) 1. 当社グループは、ストック・オプション費用調整前営業利益(△損失)をマネジメントによる事業別セグメントの評価等に使用しております。
2. 報告セグメントの利益は、ストック・オプション費用調整前営業利益(△損失)をベースとしております。
3. セグメント間の売上高は市場実勢価格に基づいております。
4. 全社に含まれるセグメント利益への調整は、主として全社一般管理費および事業セグメントに割り当てられていない基礎的研究活動に関連する研究開発費であります。

2016年度第2四半期 決算(連結)の概要

1. 受注・受注残

(単位:億円)

	2015年度 実績	2016年度実績					2016年度業績予想	
		1Q	2Q	1Q比	2Q累計	前年同期比	通期	前年度比
受注高	1,515	438	285	△34.9%	723	1.7%	(1,580) 1,580	4.3%
受注残	335	365	295	△19.2%	295	2.4%	(355) 355	6.0%

(注)上段()の数値は、2016年7月27日発表時の予想であります。

2. 損益

(単位:億円)

	2015年度 実績	2016年度実績					2016年度業績予想	
		1Q	2Q	1Q比	2Q累計	前年同期比	通期	前年度比
売上高	1,621	407	355	△12.6%	762	△11.8%	(1,560) 1,560	△3.8%
売上原価	△706	△154	△145	△6.1%	△299	△25.4%	-	-
販売費および一般管理費	△791	△196	△185	△5.4%	△381	△4.0%	-	-
その他の収益	6	1	1	△32.6%	2	△15.7%	-	-
その他の費用	△4	△1	△0	△39.5%	△1	△31.2%	-	-
営業利益 (売上高比率)	126 (7.8%)	57 (14.1%)	26 (7.3%)	△55.0%	83 (10.9%)	24.6%	(110) 145 (9.3%)	15.1%
金融収益・金融費用	△8	5	3	△19.3%	8	-	-	-
税引前当期利益 (売上高比率)	118 (7.3%)	62 (15.2%)	29 (8.3%)	△52.5%	91 (12.0%)	50.0%	(115) 153 (9.8%)	30.0%
法人所得税費用	△51	△12	△6	△46.0%	△18	△40.2%	-	-
当期利益 (売上高比率)	67 (4.1%)	50 (12.2%)	23 (6.4%)	△54.1%	73 (9.5%)	143.9%	(85) 120 (7.7%)	79.3%

(注)上段()の数値は、2016年7月27日発表時の予想であります。

3. 財政状態

(単位:億円)

	2015年度 実績	2016年度実績		
	4Q末	1Q末	2Q末	1Q比
総資産	2,105	2,057	2,070	0.7%
親会社の所有者に 帰属する持分合計	936	878	898	2.2%
親会社所有者帰属持分比率	44.5%	42.7%	43.4%	-

4. 配当の状況

(単位:円)

(基準日)	2015年度			2016年度		
	中間期末	期末	年間	中間期末	期末(予想)	年間(予想)
1株当たり配当金	10.00	10.00	20.00	13.00	9.00	22.00